

2026年8月23日 聖霊降臨後第十三主日礼拝説教
「だれを信じているのか」(イザヤ51章1～6節)

○イザヤ51章1節

「わたしに聞け、正しさを求める人 主を尋ね求める人よ。」

＊正しい、よいと見做される神の〈みことば〉に聞き従おう。

○イザヤ51章3節 ＊シオン：エルサレムの神殿があつた丘

「主はシオンを慰め そのすべての廃墟を慰め 荒れ野を
エデンの園とし 荒れ地を主の園とされる。」

☆南王国が滅びる前からイザヤは、やがて現される災いと
救い、神の厳しさと慈しみについて、民に告げ知らせた。

☞ 憐れみのゆえに、崩れゆく神の宮が再び建て直される。

今日のみことば：イザヤ51章4節

「わたしの民よ、心^{たみ}して わたしに^き聞け。」

＊イエスを信じる人も「わたしの民よ」と呼びかけられる。

※みことばどおりに、災いと救いをもって近づく神を畏れよ。

○イザヤ51章5節

「わたしの正義は近く、わたしの救いは現れ わたしの腕は諸国の民を裁く。」

★来たるべき救い主によって、神の義しさが明らかにされ、
この方を信じるか否かで、救いか滅びに選り分けられる。

「わたしの救いはとこしえに続き わたしの恵みの業が絶えることはない。」(6節)

○マタイ16章15節

「あなたがたは わたしを何者だと言うのか。」

※キリストだけが、慈しみと救いを届ける確かな道となる。